# 安全データシート

作成日　2014年03月24日
管理コード 14Mar19-017

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 化学品の名称 | ノックスドール1100Black |
| 製造会社 | |
| 会社名 | Auson AB |
| 住所 | スウェーデン |
| 販売会社 | |
| 会社名 | 株式会社　創新 |
| 住所 | 東京都豊島区上池袋4-11-16 |
| 電話番号 | 03-3918-3100 |
| FAX番号 | 03-3918-3511 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 防錆剤 |

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

| | |
|---|---|
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 区分外<br>自然発火性液体 区分外<br>水反応可燃性化学品 区分外 |
| 健康有害性 | 急性毒性(経口) 区分外 |
| 環境有害性 | 水生環境有害性(急性) 区分1<br>水生環境有害性(長期間) 区分1 |

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

絵表示

| | |
|---|---|
| 注意喚起語 | 警告 |
| 危険有害性情報 | 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性 |
| 注意書き | |
| 安全対策 | 環境への放出を避けること。<br>適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 |
| 応急措置 | 漏出物は回収すること。<br>気分が悪い時は、医師に連絡すること。 |
| 保管 | 換気の良い冷所で保管すること。 |
| 廃棄 | 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| リン酸亜鉛 | <25% | Zn3(PO4)2 | (1)-1181 | 既存 | 7779-90-0 |
| 水 | 20-40% | H2O | 対象外(天然物) | 既存 | 7732-18-5 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| タルク | 25-45% | [Mg3Si4O10(OH)2] | (1)-468 | 既存 | 14807-96-6 |
| アンモニア水 | <0.1% | NH4OH | (1)-314 | 既存 | 1336-21-6 |

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　情報なし

労働安全衛生法　名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)　アンモニア(政令番号:39)(0.1%)

## 4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

消火剤
この製品自体は、燃焼しない。
周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤
棒状注水。

特有の危険有害性
熱で容器が爆発するおそれがある。
火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護
空気式呼吸器(SCBA)を着用する。
防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
風上に留まる。
作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
低地から離れる。

環境に対する注意事項
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材
少量の場合、砂あるいは不燃性吸収材を用いて集め、容器に入れて後で廃棄する。
大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。
危険でなければ漏れを止める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|---|---|
| 技術的対策 | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| 安全取扱注意事項 | 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。<br>飲み込みを避けること。<br>皮膚との接触を避けること。<br>ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。<br>取扱い後はよく手を洗うこと。<br>環境への放出を避けること。 |
| 接触回避 | 『10. 安定性及び反応性』を参照。 |
| 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。 |

保管

| | |
|---|---|
| 安全な保管条件 | 保管場所には本製品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。<br>酸化剤から離して保管する。<br>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 |
| 安全な容器包装材料 | 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。 |

## 8. ばく露防止及び保護措置

| | 管理濃度 | 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標) | |
|---|---|---|---|
| | | 日本産衛学会<br>(2012年版) | ACGIH<br>(2013年版) |
| リン酸亜鉛 | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| 水 | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| タルク | 未設定 | ・石綿繊維非含有製品:<br>未設定<br>・石綿繊維含有製品:<br>第1種粉塵<br>吸入性粉塵 0.5mg/m3<br>総粉塵 2mg/m3 | ・Containing no asbestos fibers :<br>TWA 2mg/m3(E, R)<br>・Containing asbestos fibers :<br>Use asbestos TLV(R)(K:Should not exceed 2mg/m3 respirable particulate mass.)<br>Asbestos, all forms 0.1f/cc(F) |
| アンモニア水 | 未設定 | 25ppm (17mg/m3)<br>(NH3) | TWA 25ppm<br>STEL 35ppm (Ammonia) |

設備対策

空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。
本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

保護具

| | |
|---|---|
| 呼吸器の保護具 | 呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | 適切な保護眼鏡を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣を着用すること。<br>不浸透性の保護衣を着用すること。 |

## 9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|---|---|---|
| 外観 | 物理的状態 | 液体 |
| | 形状 | 粘稠液体 |
| | 色 | 黒色 |
| 臭い | | 微アンモニア臭 |
| 臭いのしきい(閾)値 | | データなし |
| pH | | データなし |
| 融点・凝固点 | | データなし |

| | | |
|---|---|---|
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | | データなし |
| 引火点 | | ＞100℃（引火点なし） |
| 蒸発速度（酢酸ブチル＝1） | | データなし |
| 燃焼性（固体、気体） | | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲 | 下限 | データなし |
| | 上限 | データなし |
| 蒸気圧 | | データなし |
| 蒸気密度（空気＝1） | | データなし |
| 比重（密度） | | 1.280g/cm3 |
| 溶解度 | | 水に可溶。通常の溶媒に不溶。 |
| n-オクタノール／水分配係数 | | データなし |
| 自然発火温度 | | データなし |
| 分解温度 | | データなし |
| 粘度（粘性率） | | データなし |

## 10. 安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 反応性 | 通常の条件では危険有害な反応は起こらない。 |
| 化学的安定性 | 通常の保管および取扱いの条件においては安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

## 11. 有害性情報

| | | |
|---|---|---|
| 急性毒性 | 経口 | 成分の急性毒性値は、アンモニア水 350mg/kg、リン酸亜鉛 ＞5000mg/kg、水 ＞ 5000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が11436mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。（混合物の35%は毒性が未知の成分からなる。） |
| | 経皮 | データがなく分類できない。 |
| | 吸入（蒸気） | データがなく分類できない。 |
| | 吸入（ミスト） | データがなく分類できない。 |
| 皮膚腐食性及び刺激性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 呼吸器感作性 | | データがなく分類できない。 |
| 皮膚感作性 | | データがなく分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | | データがなく分類できない。 |
| 発がん性 | | データがなく分類できない。 |
| 生殖毒性 | | データがなく分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | | データがなく分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | | データがなく分類できない。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | | データがなく分類できない。 |

## 12. 環境影響情報

| | |
|---|---|
| 水生環境有害性（急性） | EU：R50「水生生物に猛毒性」の記述（Auson AB 社のSDS）により、GHS:区分1「水生生物に非常に強い毒性」に該当する。 |
| 水生環境有害性（長期間） | EU：R50/53「水生生物に猛毒性、水生環境中で長期の悪影響を及ぼすおそれがある」の記述（Auson AB 社のSDS）により、GHS:区分1「長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性」に該当する。 |
| オゾン層への有害性 | モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。 |

## 13. 廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。<br>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。<br>廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。<br>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |

## 14. 輸送上の注意

| | | |
|---|---|---|
| 国際規則 | Regulatory Information by Sea | Complied with IMO. |
| | UN No. | 3082 |
| | Proper Shipping Name | ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. |
| | Class | 9 |
| | Packing Group | Ⅲ |
| | Marine Pollutant | P |
| | Harmful Liquid Substances | Not Applicable |
| | Regulatory Information by Air | Complied with ICAO/IATA. |
| | UN No. | 3082 |
| | Proper Shipping Name | Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. |
| | Class | 9 |
| | Packing Group | Ⅲ |
| 国内規制 | 陸上規制 | 非該当 |
| | 海上規制情報 | 船舶安全法の規定に従う。 |
| | 国連番号 | 3082 |
| | 品名 | 環境有害物質(液体) |
| | クラス | 9 |
| | 容器等級 | Ⅲ |
| | 海洋汚染物質 | P |
| | 有害液体物質 | 非該当 |
| | 航空規制情報 | 航空法の規定に従う。 |
| | 国連番号 | 3082 |
| | 品名 | 環境有害物質(液体) |
| | クラス | 9 |
| | 等級 | 3 |
| 特別の安全対策 | | 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。<br>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。<br>重量物を上積みしない。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | | 171 |

## 15. 適用法令

| | |
|---|---|
| 労働安全衛生法 | 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(アンモニア) |

| | |
|---|---|
| 水質汚濁防止法 | 有害物質（法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条）（アンモニア） |
| 労働基準法 | 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号）（アンモニア） |
| 船舶安全法 | 有害性物質（危規則第3条危険物告示別表第1） |
| 航空法 | その他の有害物件（施行規則第194条危険物告示別表第1） |

## 16. その他の情報

| | |
|---|---|
| 連絡先 | 製造会社　Auson AB<br>販売会社　株式会社　創新 |
| 参考文献 | NITE GHS分類公表データ<br>EU CLP Regulation, AnnexVI<br>CHEMWATCH社 GHS-SDS<br>RTECS(2006-2011)<br>ECHA C&L Inventory Database<br>ECHA Registered substances Database<br>Auson AB 社のSDS |

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

# [会社情報]

販売者：北見スズキ(株)
所在地：北見市西富町1-12-8
TEL:0157-24-1866